

令和6年度 TAMランド 野洲駅前園 自己評価

保育所保育指針において、保育士及び保育所の自己評価並びにその公表が努力義務とされています。そのことを踏まえ、TAMランド野洲駅前園では保育の質の向上を図る為自己評価を実地しました。評価の結果を踏まえ、次年度の改善に生かしてまいります。

評価について

評価をするにあたっては、以下の基準で評価を行っています。

◎⇒よくできている ○⇒ほぼ出来ている △⇒努力が必要

評価対象期間 令和 6年 4月 1日 から 令和 7年 1月 31日

	評価	評価の根拠・改善内容
1. 保育理念		
保育理念・保育目標を理解し正しく説明することができる	○	保育室に保育理念・目標を掲示しているが、不十分なところもあるので、随時確認ができるようにする。
園目標や方針が保護者に知らされている	◎	入園時に保護者へ知らせ、紙面と口頭で説明している。
2. 保育計画		
保育計画を作成し、見通しを持った保育を実施している	◎	月・週案を作成し、職員間で分かりやすいようにホワイトボードにて掲示している。
年間計画・年間行事の見直しをしている	◎	子どもの姿に合わせて、年度終わりに見直しをした。
3. 人権尊重		
子どもの人権が尊重され、大切にされていると感じる	◎	人権チェックリストを実施しており、退勤時に一日の保育を振り返る機会を設けている。
4. 個人情報保護		
個人情報の取り扱いについて、入園時等で説明されている	◎	入園時に口頭、紙面にて毎年保護者へ確認をとって、用紙を園で保管している。
業務上で知り得た子どもの情報に関する守秘義務について全職員に周知している	◎	定期的にミーティングを行い、紙面でも記録し全職員で共有できるようにしている。
保護者からの相談内容について全職員に周知している	◎	ミーティングを設けて、全職員に共有ができるように紙面にて周知している。 内容によっては、その都度話し合っている。

5. 保育内容		
遊びに入れない子どもや全体の様子に気を配っている	◎	全体を見守ることができる位置で見守れるように心がけて、職員間で声を掛け合っている。
子どもが伸び伸びと思いを表現できるような保育が行われている	◎	子どもの思いに丁寧に寄り添いながら、主体性を育む保育をしている。
遊びを通して、友達や保育士とのかかわりが十分持てるよう配慮されている	◎	遊びに加わり、一緒に遊ぶ楽しさを感じられるようにし、寄り添えるような個別の関わりを大切にしている。
遊びや生活を通して人間関係が育つような配慮をしている	◎	子ども同士の繋がりが持てるように、保育士が仲立ちをして関係づくりをしている。
身近な自然や社会と関われるような取り組みがなされている	○	天気の良い日には、散歩をして地域の方に挨拶をしたり、自然の変化や発見に共感したりしている。
園の行事や保育の内容が知らされている	◎	スタッフ MT や議事録で周知している。
6. 保育環境		
園以外が清潔で心地よい空間となっている	○	いつも使わせてもらっている公園の草引きや散歩コースのゴミ拾いを職員でしているが、人員不足で定期的にできていないので、できる時は清掃活動を心掛けたい。
年齢に応じた保育が提供できるような環境になっている	○	年齢に応じた玩具や環境の工夫に努めている。
子どもが落ち着いて過ごせるよう、保育室の雰囲気・おもちゃが工夫されている	○	手作りおもちゃなど新しい玩具を購入しているが、整理整頓ができていないところがあるので、整理整頓を努めていきたい。
7. 支援を要する子どもへの対応		
配慮が必要な子どもの対応がされている	◎	ミーティングで共有し、全職員、同じ対応ができるようにしている。 必要に応じて個別に保育士がつくようにし、丁寧な関わりができるようにしている。
8. 保護者支援		
意見や要望への対応ができています	◎	行事前後には保護者アンケートを実施し、思いや要望をくみ取るようにしている。反省することはすぐ職員で話し合い、共有している。

職員が子育て等について話しやすい雰囲気や態度で接している	◎	日々のコミュニケーションを大切にし、家庭や悩みを保護者の方が話しやすい雰囲気づくりを心掛けている。また保護者の方と一緒に解決策を考えるようにしている。
9. 安全対策・健康管理		
保育中、体調への気配りや怪我等に対する配慮がされている	◎	体調や怪我の状態を確認できるように、共有ノートにて保育士間で共有している。 また誤飲を防ぐためにも、絆創膏や冷えピタを貼っているときには、全職員に共有している。
感染症の発生状況や注意事項等が知らされている	◎	コドモンのお知らせにて、その都度配信をしている。
子どもの成長を把握している	◎	身体測定を行っている。
不審者対策を行っている	◎	避難訓練で不審者に対する訓練も実施している。
10. 食育		
給食が楽しく食べられるよう工夫されている	◎	調理師さんと月一回会議を行い、子どもたちの姿を共有し、それによって工夫してくださっている。
食育を通して子どもたちが食に興味を持てるようにしている	◎	野菜の栽培を行い、食育活動に努めている。また、調理師さんと話し合い、彩りや食べやすさで食に興味を持てるようにしている。
子どものサインを見逃さないようにしている	◎	食事中は子どもから目を離すことなく、表情を確認しながら見守ったり必要に応じて手伝ったりしている。
アレルギー除去食の対応をしている	◎	現段階ではアレルギー児はいないが、入園前には除去食の必要性を確認し、給食室と連携して進める体制がある。
衛生管理の徹底をしている	◎	食べる直前までラップをして、調理室で清潔に保てるようにしている。
11. 地域支援		
地域との関係が適切に保たれている	◎	地域の方にも手伝ってもらいながら行事と一緒に 行っている。 散歩中には子どもたちと一緒に挨拶をしたり、お世話になっている方々に勤労感謝のプレゼントを製作して渡したりなど、交流を大事にしている。

12. 職員育成		
研修会等職員としての質の向上に努めている	◎	社員が研修を受けて、全職員に議事録にて共有している。キャリアアップにも積極的に参加している。

園全体の評価

日々MTなどを通して、職員同士で話し合っている。

ひとりひとりが意見を言い合える環境がとても素敵なところだと思う。

今年度から人権チェックリストを実施していることで、退勤時に振り返る機会がある。保育士の思いで子どもたちが動いていないか確かめあえるように、定期的に話し合っていきたい。

保育環境の項目が十分に行うことができていなかったため、改善できるように努めていきたい。

来年度の課題

- ・ 散歩コースの清掃。
 - ・ おもちゃの整理整頓。
 - ・ おもちゃの環境、保育環境の見直し。
- 今年度不十分であったところを来年度は実施・実践できるように努力する。